



博物館だより
Vol 211 2012. 11

ミニミニマイinz

平成 24 年度企画展

山本作兵衛氏 炭坑記録画展

～ユネスコ世界記憶遺産に登録された
石炭採掘現場の様子と坑夫の生活風景画～



◆開催期間：平成 24 年 11 月 6 日～25 日

◆開催場所：鉱業博物館 2 階 特別展示室

11 月 6 日～25 日にかけて、当館 2 階特別展示室において企画展「山本作兵衛氏炭鉱記録画展」を開催しています。

山本作兵衛氏は、50 年に渡り福岡県筑豊の炭鉱で働き続け、引退後、炭鉱での生活の様子を画用紙などに描き始めました。その詳細な記録資料が評価され、山本氏の作品は平成 23 年に日本で初めてユネスコの世界記憶遺産に登録されました。

企画展では、山本作兵衛氏と親交のあった秋田大学OB の角銅立身氏から貴重な原画 2 点と、田川市石炭・歴史博物館が所有するユネスコ世界記憶遺産に登録された炭坑記録画の複製 50 点を展示しています。炭鉱での実際の採掘方法、その道具や手法の変遷、日常生活、米騒動など時事的な事件が独特のタッチで表現されています。また山本作兵衛氏に関わる様々な放送番組をDVDで放映しており、山本氏の肉声や日本酒好きの一面など、山本氏の人となりを知ることができます。

「ユネスコ世界記憶遺産」とは？

歴史上重要な文献や絵画、音楽、フィルムなどを

後世に伝えるのを目的としてユネスコが 1992 年に定めました。

山本氏の炭鉱記録画の他にも、ベートーベンの交響曲第九番の

自筆楽譜、アンネフランクの日記、フランスの人権宣言など

約 300 件が登録されています。

山本作兵衛氏

明治 25 年生まれ、昭和 59 年没。

7 歳から父について兄とともに炭鉱に入り、明治 39 年に山内炭坑の炭鉱員となりました。以後、採炭員や鍛冶工員として、筑豊各地で働きながら、日記や手帳に炭坑の記録を残しました。60 代半ばに絵筆を取るようになり、自らの経験や伝聞をもとに炭鉱の様子を墨や水彩で描き、「ヤマの絵師」として知られました。



多くの人が訪れて連日賑わいました。皆さん、墨で書かれた文章に顔を近付けて見入っていました



企画展の準備の様子

運送業者や博物館の職員が設置作業をしました。貴重な原画なので慎重に行いました。



「入坑（母子）」

(昭和 39～42 年頃)

弁当を持って入坑する女性と赤ん坊の世話ををする子ども。坑道は狭く、母親では子どもを背負うことができませんでした。



「撰炭機での作業（撰炭婦）」

(昭和 43 年 1 月)

大正初期に使用された選炭機の仕組みと、それを用いて石炭を分別する女性が描かれてています。



1 枚ずつ記録画の隣に説明パネルを添えながら貼りました。

◇ 平成24年 市民向け講演会開催 ◇

平成24年11月17日(土)、秋田ビューホテルにて市民向け講演会を開催しました。鉱業博物館にて25日まで開催している「山本作兵衛氏炭坑記録画展」に関する演題で、2人の講師の方に講演していただきました。

あいにくの天気でしたが、多くの方が参加し熱心に講演に耳を傾けていました。

■『山本作兵衛さんの生い立ちと筑豊の画かれた世界』

講師：角銅法律事務所弁護士 角銅 立身 氏

角銅氏は、秋田鉱山専門学校の卒業生であり、古河鉱業大峰鉱業所を退職後、1965年に弁護士として司法の世界に進み活躍されています。講演では、山本作兵衛の作品の歴史的価値を見いだした飯沢匡氏など山本作兵衛の作品に関わった人物のことや、炭鉱で働く人々の様子をお話してくださいました。生前親交のあった山本氏について「誠実な人柄だった」と語っておられました。



準備していた資料が足りなくなるほど多くの人が賑わい、講師方々のお話は予定の時間を超えてしまう程、熱がこもっていました。



角銅氏の講演

■『世界記憶遺産と山本作兵衛』

講師：田川市石炭・歴史博物館館長 安蘇 龍生 氏

安蘇氏は、筑豊の炭坑が世界遺産の候補に入っていないことに異議を唱え、認定に向けて働きかけ、山本作兵衛の作品の世界記憶遺産への登録に大きく貢献しました。当時の苦労や世界記憶遺産に「山本作兵衛コレクション」が認定されるまでの経緯を直接関わった自身の経験を交え、お話してくださいました。



安蘇氏の講演

標本の紹介

蛍光鉱物

紫外線や放射線を当てると、そのエネルギーを吸収し、受けたエネルギーの一部を瞬時に光として放出する現象を蛍光といい、そのような現象を起こす鉱物を蛍光鉱物と言います。

当博物館では、ミネラ・ライトという紫外線発光装置を用いて、蛍光鉱物が光を放出する様子を見る事ができます。1階鉱物コーナーに展示しておりますので、鮮やかな色に変化する様々な鉱物をどうぞご覧ください。



蛍光鉱物の一例



スタークリングヒル鉱山産 蛍光鉱物
(アメリカ合衆国)

色	鉱物名	蛍光色
黒色	フランクリン鉱	なし
赤褐色	紅亜鉛鉱	なし
淡褐色	珪亜鉛鉱	緑色
白色	方解石	赤色

案内実習を行いました！

先月まで行われていた古銭の特別展を、私たち実習生が案内させて頂きました。改めて展示内容について勉強し、理解を深める機会となりました。来館者の方々も興味を持って耳を傾けてくださり、積極的に質問をされる場面もありました。



私たちも、コミュニケーションを取りながら楽しく展示を紹介することができ、良い経験になりました。

編集後記

今月号は博物館実習生が担当させていただきました。2時間以上に及ぶ講演会のビデオを視聴してまとめたり何度も企画展に足を運んだりして、今月の出来事を分かりやすく伝えられるよう様々な工夫をしました。雪がちらつき、外に出るのが億劫な季節となりましたが、このような時こそあたたかな鉱業博物館に足を運んでいただき、展示品に魅力を感じていただけたら幸いです。

4班 石井・佐藤(綾)・武田・高橋(苑)・佐藤(翔)
高橋(華)